

平成 23 年 9 月 12 日

平成 23 年度病害虫防除技術情報（第 2 号）

和歌山県農作物病害虫防除所
TEL 0736-64-2300

1. 対象作物：カンキツ
2. 病害虫：褐色腐敗病
3. 対象地域：台風 12 号の接近（9 月 3～4 日）に伴う河川氾濫により浸水した地域
4. 発生量：やや多
5. 発生期間：着色期～成熟期（9～11 月）
6. 発生状況
 - 1) 9 月 7～9 日に有田川町、有田市、日高川町及び田辺市で実施した調査によると、台風 12 号の影響で浸水のみられた園におけるウンシュウミカンの発病樹率は 3.3～100%であった（表 1）。1 樹あたりの発病果数は 1～5 個程度で、多くは地表面に近い部位での発病であるが、樹冠上部まで冠水した樹では、上部の果実でも発病がみられる（図 1）。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 病原菌は土壌中で生存する。着色期から成熟期にかけて、強風により土壌が巻き上げられて果実に付着したり、河川氾濫等により樹体が冠水すると発病しやすい。
 - 2) 樹体に付着した泥は多量の清浄な水で洗い流す。
 - 3) 園内の風通しを良くし、排水溝の整備に努める。また、着果部位の枝をつり上げて地表面から離す。
 - 4) 園内を注意深く見回り、発病果実を確認したら除去して速やかに薬剤散布を行う（表 2）。収穫までの日数が短い極早生品種では薬剤の使用時期に注意する。

表1 褐色腐敗病の発病状況

調査園		発病樹率(%)*
有田川町庄	I	67.7
	II	30.0
有田市山地	I	56.7
	I	30.0
日高川町入野	II	3.3
	III	6.7
日高川町玄子	I	100
	II	100
日高川町松瀬	I	93.3
田辺市中芳養	I	23.3

台風12号の影響で浸水したウンシュウミカン園を調査(9/7~8)

*各園30樹調査し、1個以上の発病果実がみられた樹を記録

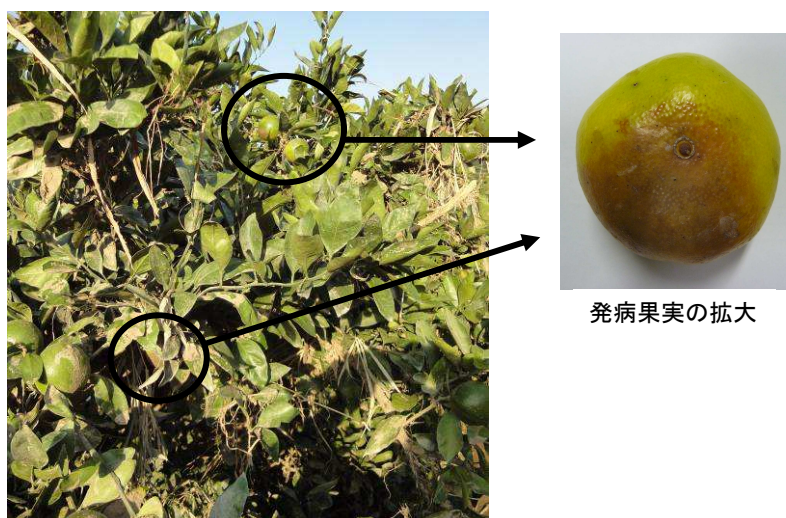


図1 樹冠上部まで浸水した園での発病(日高川町)
※囲みが発病した部位

表2 カンキツ褐色腐敗病に登録のある主要な薬剤(2011年9月12日現在)

薬剤名		希釈倍数	使用時期	使用回数
ランマンフロアブル	かんきつ	2000倍	収穫前日まで	3回以内
アリエッティ水和剤	かんきつ	400~800倍	収穫前日まで	3回以内
ジマンダイセン水和剤	みかん	400~600倍	収穫30日前まで	4回以内
	かんきつ(みかんを除く)	600倍	収穫90日前まで	4回以内
ペンコゼブ水和剤	みかん	400~600倍	収穫30日前まで	4回以内
	かんきつ(みかんを除く)	600倍	収穫90日前まで	4回以内